

KENWOOD製トランシーバ用 マイク端子接続ケーブル

KENWOOD 製トランシーバのマイク端子に、DMS-05/07/08/07GT/09BB/10MH 等のマイクアンプ、オーディオアンプを接続するケーブルです。

スタジオ用マイクロフォンを無線機で使用する場合、ゲイン不足を補うためにマイクアンプを使用することがあります。マイクアンプの出力を無線機に入力する方法は、①マイク端子から②リアパネルのアクセサリ端子から、の2種類があります。リアのアクセサリ端子から入力すると、マイク端子の直後にあるマイクアンプ（ゲインは20db程度、特性があまりよくないものが多かった）をパスできることから、音創りにこだわる方は、アクセサリ端子から入力している方が多いようです。音創り研究会でも、アイコム用・ケンウッド用・ヤエス用と3種類のケーブルを頒布していました。

しかし最近の無線機は、マイク端子の直後のマイクアンプはオペアンプが使用され、高音質化が図られており、周波数特性もリアのアクセサリ端子とほぼ同じになりました。また、マイク入力専用端子のため、グラウンドの処理もしっかり対策されています。

音創り研究会では以上をふまえ、接続が簡単なマイク端子にマイクアンプの出力を入力するためのケーブルを頒布することにいたしました。



本ケーブルの特徴

- ・ノイズ対策のため、1芯シールド線が入った5芯の特殊なケーブルを使用しました。
- ・PTTスイッチを付けました。
- ・ロック付きPTTボックス（電子式）をオプション品として頒布することとし、専

用の接続コネクタを付けました。

- ・以前頒布していた機械式PTTスイッチやフットスイッチを接続するコネクタも付けました。

本ケーブルを使用するときの注意

- ・リアのアクセサリ端子からマイクアンプ出力を入れるときは、おおむねダイナミックマイクでは50db程度増幅できるマイクアンプが必要でしたが、マイク端子からなら直後のマイクアンプが利用できるのです。30db程度のマイクアンプで十分です。コンデンサーマイクではさらにゲインはいらないので、マイクアンプのゲイン・無線機のマイクゲインをモニターしながら適切に調整してください。

☆接続方法:

- 8ピンマイクプラグは、リグのマイク端子(8ピン)に接続してください。
- マイクプリアンプの出力は写真のRCAピンプラグに接続してください。(RCAピンケーブル使用)
- 接続ボックス以外にPTTスイッチを接続する場合は、外部PTTコネクタ(RCAジャック)に接続してください。(RCAピンケーブル使用)
- オプションの電子式PTTボックスを接続するときは、専用のジャックに接続してください。(6.3mmステレオジャック)電源はリグから供給されるので、接続するだけで使用できます。



☆対象機種

- 8ピンのマイク端子があるケンウッド製トランシーバ